

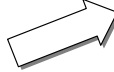
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-13-03
事務事業名	鴻島港整備事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	平成17年度～平成20年度		港湾法
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	港湾・漁港	都市整備課
		職・氏名	土木係長 梶藤 勲
		電話	0869-64-1835

事業の実施	対象(誰・何に対して)	鴻島港を利用する船舶・住民。
	目的(何のために)	安全で安心して鴻島港が利用出来るようにするため。
	行政活動(どのような方法で)	鴻島港の浮桟橋を可動式に改良する。
	事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	台風時の高波の影響を受けにくい構造とすることで、浮桟橋が被災し使用出来なくなることをなくす。

事業の実績						
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	委託業務件数	件	-	1	-	
	工事件数	件	1	-	0	
	事業費	千円	7,384	10,000	9,420	
	人件費	千円	6,632	1,380	1,964	
	事業費計		14,016	11,380	11,384	
	財源	千円	5,523	6,000	5,652	
	国・県・市・道・支・出・金		0	0	0	
	受・益・者・負・担・債		1,300	4,000	3,700	
	一・般・財・源		7,193	1,380	2,032	
必要人員	人	0.92	0.30	0.34		
結果指標①	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	委託業務1件当りの活動コスト	説明				
	結果指標量	件	-	1	-	
	対前年比	%	-	-	-	
	活動コスト	円	-	11,380,000	-	
	単位当たりコスト	円	-	11,380,000	-	
	結果指標②	工事1件当りの活動コスト	説明			
		結果指標量	件	1	-	0
		対前年比	%	-	-	-
		活動コスト	円	14,016,000	-	11,384,000
単位当たりコスト		円	14,016,000	-	11,384,000	

事業の成果	成果指標名	浮桟橋が利用出来ない回数	式又は説明	浮桟橋が利用出来ない回数 (平成19年度からの累計)
		17年度	18年度	19年度
	成果指標量	0	0	0
	対前年比	-	-	-
	到達目標値	0回	到達目標年度	毎年度



事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> A
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 対象を明確にする必要がある	課題認識
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	鴻島と本土を結ぶ交通機関は船舶だけでなく、市が管理する鴻島港は、市が関与することが妥当である。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E> B
	市の関与	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識
効率性の評価	手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	港湾事業は、事業数も少なく経験機会が少ないため、研修等により知識の向上に努める必要がある。
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の見解・要望が反映されやすい	有効性評価<A~E> A
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	平成19年度に工事の着手を行い、今年度完了であるため、成果はまだわからない。
	市民参画度		

平成20年度の状況		説明	平成19年度に工事の着手を行い、今年度も引き続き事業を行っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量①	0件	結果指標量②
	成果指標量	0件	

総合評価	評価区分<A~E>	A	
台風時の高波により度々落橋していた浮桟橋が、事業を行うことにより改善され、利用者の安心・安全が図れる。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果